

平成23年度学校評価計画 中間評価結果

石川県立金沢北陵高等学校

重点目標	具体的取組	主担当	達成度判断基準	中間結果、判定	成果と後期への課題
1 遅刻・欠席を減らし服装容儀を整えるなど基本的生活習慣の一層の確立を目指す。	① 全職員で時間厳守について指導を徹底するとともに、保護者との連絡を密にするなどして、遅刻・欠席の減少に努める。また登校指導等により挨拶の励行を推進する。	生徒指導 学年 各教科 全職員	【成果指標】遅刻者数が1日平均 A 3人未満であった B 5人未満であった C 7人未満であった D 7人以上であった	4月～7月遅刻者 193名 前年比79% 1日平均2.8人 A	遅刻だけでなく、欠席・早退も昨年より減少した。遅刻は昨年同期比79%で、1日平均2.8人とA目標値を超えた。規則正しい生活習慣は学校生活の基礎であり、今後も職員全体で指導に取り組みたい。挨拶については目標値(A+B=80%)を満たした。今後も登校指導などの際、教員が積極的に声をかけるなどして、挨拶の大切さを伝えたい。
	② 服装容儀の指導を徹底し、生徒の規律・マナーの向上を目指す。	生徒指導 全職員	【努力指標】自ら進んでの挨拶が A よくできている B だいたいできている C あまりできていない D ほとんどできていない	A 25.5% B 55.9% C 17.0% D 1.6% A+B=81.4%	
	③ 生徒の行動に注意を払い、生徒の面接や保護者との連絡をより密にし、学校組織として生徒理解を深める。	保健相談 学年 生徒指導	【満足度指標】(生徒)自分の行動や悩みについて先生方は A いつも注目し、支援してくれた B だいたい注目し、支援してくれた C あまり注目、支援してくれなかった D ほとんど注目、支援してくれなかった	A 13.9% B 60.1% C 18.4% D 7.6% A+B=74.1%	
2 少人数授業の工夫など授業改善に努め、基礎学力を定着させるとともに、生徒一人ひとりに応じた学力の向上を図る。	① 研究授業や公開授業を積極的に行い、授業改善に努める。	教務 各教科	【努力指標】(教職員)少人数授業で生徒の発言や活動を増やす授業の工夫に A 積極的に取り組んだ B ある程度満足できる取り組みができた C 積極的な取り組みはできなかった D ほとんど取り組めなかった	A 18.2% B 61.4% C 20.4% D 0.0% A+B=79.6%	目標値(A+B=80%)にわずかに届かなかったが、目標値に近い結果であった。ただしA評価が少なく一層授業改善に取り組む必要がある。
	② わかる授業を行うとともに、生徒の興味・関心を引き出す授業の工夫・改善に努める。	教務 各教科	【満足度指標】(生徒)わかる授業や興味関心を引き出す授業の工夫が A 十分に感じられる B だいたい感じられる C あまり感じられない D ほとんど感じられない	A 15.2% B 56.4% C 23.9% D 4.5% A+B=71.6%	
	③ 授業以外の時間での学習習慣の定着を図る。	教務 進路指導 学年 各教科	【成果指標】授業以外の平均学習が、1時間以上の生徒が、 A 70%以上である B 50%以上～70%未満である C 20%以上～50%未満である D 20%未満である	4月～7月平均 46.1% C	
	④ 個別指導や各種資格、検定試験に対する取り組みを強化する。	各教科 学年 進路指導	【努力指標】(教職員)授業外で補習や個人指導を A 積極的に行っている B 必要に応じて行っている C 時々行っている D ほとんど行っていない	A 20.9% B 39.6% C 18.6% D 20.9% A+B=60.5%	

重点目標	具体的取組	主担当	達成度判断基準	中間結果、判定	成果と後期への課題
3 組織的な進路指導により履修や進路についてのガイダンス機能を充実させ、生徒一人ひとりの進路の実現を図る。	① 各学年に応じた進路学習を工夫し、主体的で継続的な学びができるように支援する。	進路指導 教務 学年 企画	【努力指標】（教職員）本校教育課程を理解し、生徒への助言・支援が A 十分に助言・支援できる B おおむね助言・支援できる C あまり助言・支援できない D ほとんど助言・支援できない 【満足度指標】（生徒）進路行事、「産社」、「総合」の学習が A 進路を考える上で、大いに役立った B ある程度役立ったと感じる C あまり役立たなかった D まったく役立たなかった	A 25.0% B 56.8% C 18.2% D 0.0% A+B=81.8% A 26.2% B 59.5% C 11.1% D 3.2% A+B=85.7%	目標値（A+B=90%）に届かなかった。昨年度は70%の目標値を満たしたので、今年度は引き上げたが、ほぼ同値であった。A評価は8%向上した。職員全員が総合学科の教育課程を理解し、助言・支援する力を強化したい。 目標値（A+B）を70%から80%に引き上げたが、超えることができた。A評価の割合がさらに高まるよう指導の充実に取り組みたい。
	② 個別指導や各種資格、検定試験に対する取り組みを強化する。	各教科 学年 進路指導	【成果指標】受験者数（延べ）が、 A 1000人以上であった B 850人以上～1000人未満であった C 750人以上～850人未満であった D 750人未満であった	年度末に集計	年度末に集計
	③ 保護者や関係機関と連携を深め、進路指導の充実を図る。	進路指導 学年 企画	【満足度指標】（保護者）提供された情報に対して A 満足できた B ある程度満足できた C あまり満足できなかった D 満足できなかった	A 23.3% B 62.0% C 12.4% D 2.3% A+B=85.3%	目標値（A+B）を70%から80%に引き上げたが、昨年度より6%向上し超えることができた。進路説明会や進路関係資料が評価されたものと思われる。ただ「子供が学校からの案内類を渡さない」との回答が散見され、提供方法の改善を検討する。
4 部活動の積極的な加入・活動を推進し、その活動を通して活力ある学校生活の充実を図る。	① 部活動の活性化を目指し支援・運営する。	特活環境 全職員	【努力指標】（教職員）部活動の指導に A ほぼ毎回参加し、十分な支援ができた B 週2～3回活動に参加し、概ね支援ができた C あまり参加せず、十分な支援をしていない D ほとんど参加せず、支援もしていない 【満足度指標】（生徒）私は A ほぼ毎回部活動に参加した B 週2～3回部活動に参加した C あまり参加できなかった D 参加できなかった	A 36.4% B 38.6% C 25.0% D 0.0% A+B=75.0% A 54.3% B 20.3% C 7.1% D 18.3% A+B=74.6%	昨年度中間値より4%増となったが、目標値（A+B）を80%に引上げたため、目標値に届かなかった。生活規律維持や進路決定においても部活動は重要な要素であり、活動を一層盛り上げていきたい。 目標値（A+B=70%）に達した。部活動の学校生活における重要性を一層強調し、活動意欲を高めたい。
			【成果指標】地域行事やボランティアなどに一度は参加した生徒が（半期） A 200人以上であった B 150人以上～200人未満であった C 100人以上～150人未満であった D 100人未満であった	233人 A	参加した生徒数が200人を超えた。学年単位で地域の清掃活動を行うなどの諸活動が生徒の意識に好影響を与えたと思われる。
	② 地域行事・学校行事等に参加し、地域との連携を密にする。	特活環境 全職員			